

「おおさわスクール・コミュニティカレンダー」

作品決定！

おおさわ学園の児童・生徒に絵の募集をしたところ84点の応募がありました。その中から児童・生徒代表者会議で話し合い以下の12人の作品が選ばれました。今回は、集合して選定することができないためズームで行いました。初めての試みでしたが、子供たちは落ち着いて説明したり、質問したりすることができました。

おすすめの絵を見せる時、ズームのカメラで写すよりも先に写真で撮っておいて共有した方がよかったという声もありました。慣れてきたら中学生に進行を任せられることもできると感じました。コロナ禍の中、制限されることもありますが、ICTを活用して交流を深める手立ても見えてきました。

行事やおすすめの場所も地域の方々をお願いして解説を書きいただきました。

写真等も地域の方々にご協力をいただいております。新学期までには、カレンダーを配布する予定です。来年度こそは、コロナウィルス感染症が収まって多くの行事ができることを願っています。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



月	地域の行事 おすすめの場所等	解説者 (敬称略)	校名・ 学年・学級	選ばれた児童 生徒名 (敬称略)
4	野川	羽沢小学校 主任教諭:鶴岡泰樹	羽沢・3年1組	松原 颯輝 (まつばら そうき)
5	コミュニティ祭	大沢住民協議会 会長:石崎明	羽沢・4年1組	芦刈 智佳 (あしかり ちか)
6	ほたるの里三鷹村 田植え	ほたるの里三鷹村 村長:指田昌雄	大沢台・5年1組	吉田 舞音 (よしだ まお)
7	水上フェスティバル	大沢住民協議会 体育部長:鎌田博喜	羽沢・5年1組	佐藤 絆介 (さとう ばんすけ)
8	下原町会盆踊り	下原町会長 海老澤正美	羽沢・6年2組	蛭間 悠介 (ひるま ゆうけ)
9	大澤八幡神社祭礼	氏子会 田中英明	大沢台・6年1組	篠田 心美 (しのだ こみ)
10	新車(水車経営農家)	三鷹市スポーツと文化部 生涯学習課:小暮裕子	大沢台・4年2組	上條 蒼真 (かみじょう そうま)
11	大沢の里秋まつり	花と緑のまち創造協会 梶野章貴	七中・2年C組	福嶋 彩季 (ふくしま き)
12	沢の台歩道橋 (七中階段)	三鷹市立第七中学校 校長:勝野能光	七中・2年B組	峯岸 和 (みねがし なごみ)
1	国立天文台・ 星と森と絵本の家	国立天文台天文情報センター 普及室:石川直美	大沢台・2年1組	杉浦 実哉子 (すぎむら みやこ)
2	大沢の里古民家	三鷹市スポーツと文化部 生涯学習課:下原裕司	七中・2年A組	牧岡和穂 (まきおかかずほ)
3	ほたるの里三鷹村	ほたるの里三鷹村 村長:指田昌雄	七中・2年B組	渡邊ひかり (わたなべ)



おおさわ学園コミュニティ・スクールだより

おおさわ学園 コミュニティ・スクール委員会 会長 三瓶恭子

<http://mitaka-schools.jp/ohsawa/index.html>



「さらに 進もう 皆と手を取り合って」

おおさわ学園三鷹市立第七中学校 校長 勝野 能光

コロナ禍において、私たちが最優先で考えたことは、おおさわ学園全ての児童・生徒が、安心して毎日の学校生活を送っているか、です。健康面はもちろん学校や地域生活において温かい人間関係が形成されていること、自分の居場所があること、達成感のある充実した時間を過ごしていること等です。すべての活動で「3密」を避け、保護者・地域の皆さま方の力もお借りして、教育活動に取り組んでまいりました。改めてご支援に感謝申し上げます。

さて、昨年11月にWebにて実施した「おおさわ学園・学校評価アンケート」への回答ありがとうございました。おおさわ学園の「めざす児童・生徒像」である「学び続ける人」「心身ともにたくましい人」「心豊かで共に生きる人」の実現のため、おおさわ学園CS委員会が「おおさわ学園アクションプラン」を基にアンケート項目を検討しました。27の回答項目、初めてのWebによる実施等ではありましたが、78%という回答率でした。今回紙面での紹介は一部となりますが、全てのアンケート結果は、学園および学校のホームページに掲載いたしますのでご覧ください。このアンケート結果を取り入れながら、今年度の学園・学校の教育活動の成果と課題を検証し、来年度に向けより良い学園・学校づくりをするための計画に生かしてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

【第9回CS委員会】

2月18日 18:00～
ズーム
オンライン会議！




《評価部会》
評価部会では今年度、Webによる「学園評価アンケート」を実施しました。ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。来年度の実施に向けて評価部会では項目等の見直しを行ってまいります。

《広報部》
今年度はCSだより82号・83号の発行、学園カレンダーの制作を行いました。次年度の学園カレンダーは3月末(小新1年生は4月)に配布予定です。

《コーディネーター部会》
今年度はコロナ禍により、サポート隊の活動も様々な制限があるなか、消毒サポートなど新たな協力をいただきました。算数サポートや引率、部活動サポートなどは継続して行いました。多数のサポート隊の協力で感染対策を行いながら、英語検定、漢字検定、算数検定も実施出来ました。

【サポート依頼件数58件/参加者612名(延数)/学園合計/2月時点】
次年度も4月にサポート隊登録のご案内をしますので、よろしくお願いいたします。

【sc推進員】
1月29日(大沢台小) 2月3日(羽沢小)にて、三鷹ネットワーク大学教育ボランティア養成講座をZoomで開催しました。本講座は教育ボランティアとして学校に関わる方の心得、おおさわ学園のサポート隊活動について学んだ後、授業サポート経験者や新しく関わろうとする方、担当の先生を交え、具体的な意見交換を行いました。4月にも新たな算数サポート登録者を募集し、同様の学習会を予定しておりますので、ご参加お待ちしております。



学園アンケート特集

今年度CS委員会では、昨年度作成した「おおさわ学園アクションプラン」に基づき項目を見直した新しいアンケートを本学園では初めてWebにて実施しました。

アクションプランは学園のめざす児童・生徒像に照らし合わせ、学校では、家庭では、子どもは、そして地域ではと、それぞれ具体的な姿を当てはめ、それをさらにわかりやすい言葉で表したものです。

今回のアンケートの結果を踏まえ、委員会で話し合われた意見を学校と共有し、今後の教育活動に活かして行ければと思っております。なお、全アンケートの結果はホームページに掲載してありますのでぜひご覧ください。

アンケート項目検討

Webによるアンケート実施

学園の目標	このアンケートで	心懸かす	学び続ける人
児童・生徒の「生きる力」を育むこと	児童・生徒の「生きる力」を育むこと	心懸かす	学び続ける人
児童・生徒の「生きる力」を育むこと	児童・生徒の「生きる力」を育むこと	心懸かす	学び続ける人
児童・生徒の「生きる力」を育むこと	児童・生徒の「生きる力」を育むこと	心懸かす	学び続ける人

7月 → 11月
1月 → 12月

評価部会で意見交換

委員研修
「おおさわ学園評価アンケートを活用した学校経営の改善」 嘉悦大学 木村敏史教授

回答率78%!
 皆さまご協力をありがとうございました！

学力向上をめざして

～おおさわ学園アクションプランとともに～

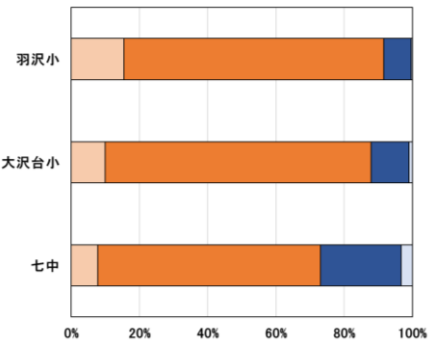
家庭・学校・地域 ONEチーム

学び続ける人

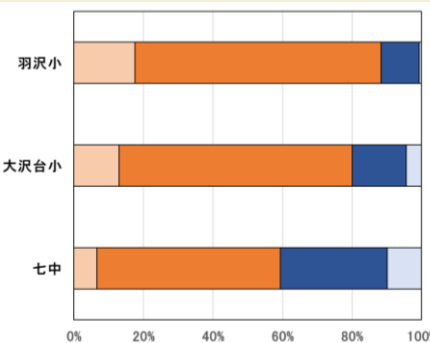
心身ともにたくましい人

心豊かで共に生きる人

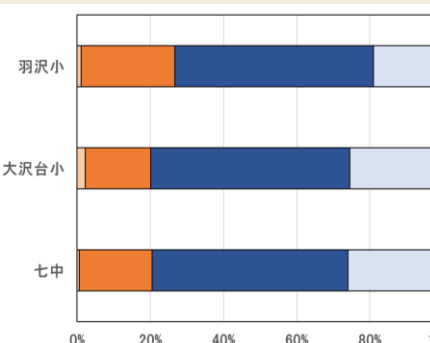
【2】学校は、児童・生徒が理解しやすい授業を行なっている。



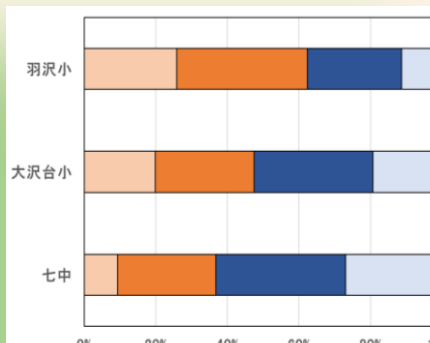
【3】お子さんは、授業を通して学年相当の基礎学力を身に付けている。



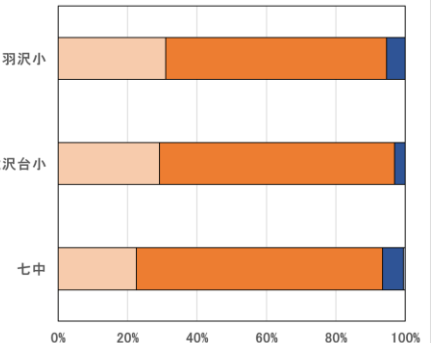
【5】ご家庭で、「おおさわ学園家庭学習の手引き」を活用している。



【8】お子さんは、ご家庭で読書をしている。



【15】ご家庭では、お子さんとコミュニケーションがとれている。



中学生になると、肯定的な意見が少なくなる傾向にあります。この点に学校はどのように取り組みますか？

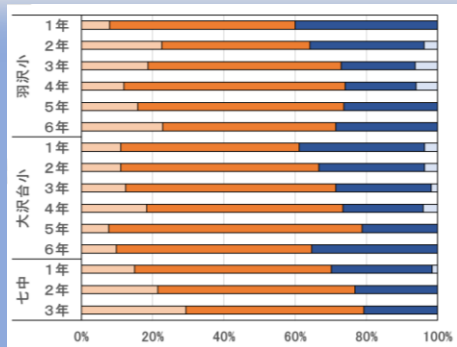
- 多様な児童・生徒を誰一人取り残すことなく、学習内容の確実な定着を図り、理解を深め、充実した学習を実施します。
- 各校で作成した授業改善推進プランに基づく授業改善を通し「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた義務教育9年間の連続性と系統性のある学習の更なる充実を図ります。
- 児童・生徒の発達の段階や学習課題に応じ、一人一台のタブレットを積極的に活用し学力の確実な定着を図ります。
- ユニバーサルデザインの考え方に基づく「分かる授業」を推進するとともに、児童・生徒の状況を踏まえた合理的配慮を適切に行います。

手引きが十分に活用されていないことがわかりました。

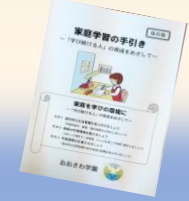
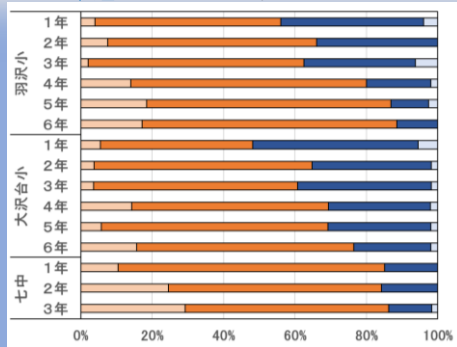
- 家庭学習は、学力の定着や生活習慣の確立においても大変重要です。「手引き」は今後も有効に活用していきたいと考えます。保護会で配布、HPへの掲載、児童・生徒への指導等様々な面から紹介し、家庭学習の定着へつなげていきます。

今年はコロナ禍の中で、ご家庭で過ごす時間が多かったと思います。その中で、学年による差が見られずお子さんとコミュニケーションが取れているということは素晴らしいと思います。「お子さんには喜びや悲しみを話せる人がいる」という設問についても肯定的な回答が多く、安心できる結果となっています。

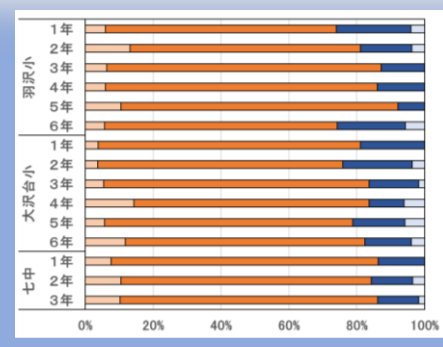
【17】お子さんは、自分からすすんであいさつをしている。



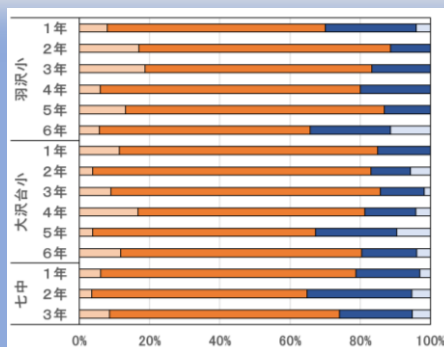
【18】お子さんは、T.P.O.に応じた言葉遣いをしている。



【19】学校は、いじめや暴力の無い学校づくりに取り組んでいる。



【20】学校は、子どもたちの悩みや問題にいていねいに対応している。



とてもそう思う (orange)

そう思う (light orange)

あまりそう思わない (dark blue)

そう思わない (light blue)

保護者の方からは、厳しめの回答が多くありましたが、地域の方が来校された際には積極的に挨拶をする姿が見られるとのご意見がありました。

- 児童会や生徒会主催の「あいさつ運動」や先生方や地域の方々から積極的にあいさつする姿から児童・生徒も学び、根付いていると思います。

肯定的な回答が多いですが、100%を目指したい項目です。

- ふれあい時間（年3回）に実施する全児童・全生徒へのアンケート、児童・生徒との二者面談、三者面談、暴力・体罰調査等に伴う管理職と児童・生徒の面談等を通して全教職員が連携し、今後もいじめや暴力の未然防止、早期発見、迅速な対応を心掛け、全児童・生徒一人一人を見守っていきます。

●は学校からのコメントです。